

市立高教組ニュース

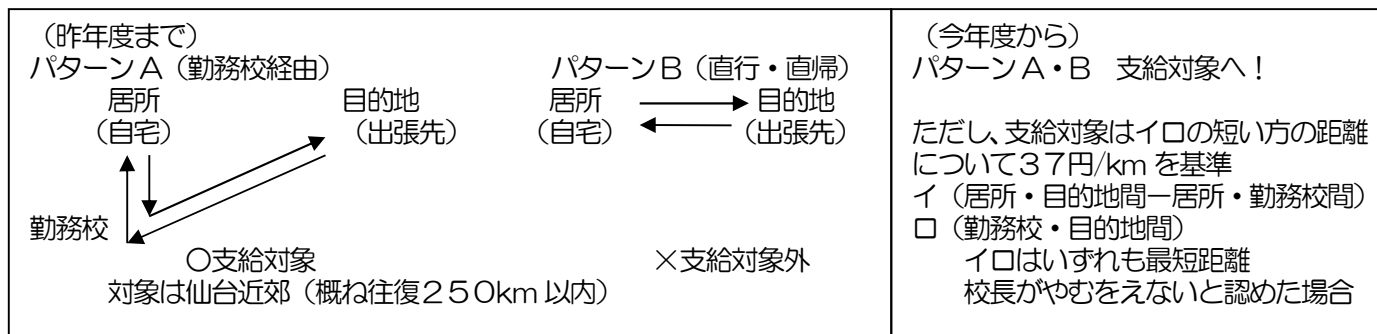
第 1 号 2014 (H26) 年 4 月 10 日 (木) 発行

発行 仙台市立高等学校教職員組合
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-10
仙台市国分町分庁舎 Tel. (022) 262-2289
書記長 笠原 修好

旅費問題

マイカー出張、学校経由を求められる矛盾を現場から指摘 新年度より旅費支給要件の是正へ

市費負担教職員の私有車の公務使用要件改訂



<日額旅費>
かねてから問題となっていた標記の旅費問題について昨年7月・今年2月の教育長交渉で改善を指摘していたが、当局が問題であることを認め、この度の改善となりました。
部活動の大会に参加する等で、学校へ立ち寄りないと旅費の支給対象から外れるおそれのある現行制度の問題点がありましたが、ようやく決着をみました。

4月に入ってから、花粉が暴れまわっているようで、花粉症の私には大変辛い季節となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
仙台商業に転勤して6年目の春を迎え、私笠原は、この4月から仙台市立高教組の書記長を務めさせていただきます。現在市立高教組は組織率10%を切っており、職場の代表として市教委と交渉する際、若干肩身の狭い思いをしております。我々の使命はより良い職場を作る事。市教委の使命は教育条件の整備。お互いに協力できる場所は協力し、違う立場から

意見のある所には意見を言う。市教委とはそんな関係にあります。勤務時間内に執行委員会を認めて頂いているのも、高教組が現場の意見をしっかりまとめられるようにとの配慮から来ていると私は考えています。従いまして、よりよい職場を作るためのご意見等をお持ちの方は、教育長との交渉の場を持っている我々まで、炉辺談話でもいいので、情報を頂ければ幸いです。

他に昨年度の教育長交渉等で、改善された点。

- ・常勤講師の賃金日額が経験年数に応じた額に改善。
- ・主幹教諭の導入に際し、主幹1名当たり6時間の講師枠を確保。
- ・震災で壊れた仙台商業の研修会館の浴槽修理。(事務室で何とかならないかと言われ、交渉のテーブルに乗せた)

書記長自己紹介：

笠原好修 45歳。妻1人子ども4人。数学担当 (今年度持ち時間数10時間)、採用からずっと演劇部顧問。

組合費は月6,770円。特技は電気工事・散髪 (家族全員の髪切り係) 趣味は紙工作・作曲・パソコン等。今年の3月に家を新築し暖房費節減のため、薪ストーブを設置。休みは子どもたちと薪集めに行こうと口説き中。

<ワード>

—— 教職調整額 (給料の4%) ——

我々の給料に加えられており、期末・勤勉手当や退職手当等の算定の基礎とされている。

時間外勤務を認めない代わりに、その代償として昭和41年当時の中学校の月平均残業時間(8時間)を基に算出された。

しかし、現在は在校時間記録簿により、教職員の勤務時間は当時とはかけ離れた数字になっていることが明らかとなっている。また、給特法では教職員には原則として時間外勤務を命ずる事は出来ず、時間外勤務させる場合でも、次の4項目(a.生徒の実習、b.学校行事、c.職員会議、d.非常災害、児童生徒の指導に関し緊急の措置を必要とする場合)に限定されている。

ふと私たちの身分を考えた時、昔より窮屈になったと感じはしないだろうか。